



神戸市立烏帽子中学校

令和7年1月24日発行 第6号

64 回生学年だより「WITH」

～ 共に学び、共に支えあい、共に感動する学年 ～

生徒作文「3学期になって」

「高校生になる自覚」「自分の選んだ運命」

僕はこの烏帽子中に入學した時の自分をものすごく覚えている。この烏帽子中には、灘小、成徳小、西郷小の卒業生がこの中学校に入ってくる。この事実を知った時の緊張している自分。友達と話せるのかという不安に包まれた入学式。今は少し大人になって中学卒業間近まで来ている。今では、テストの点数や通知表の見方、授業への取り組み方、レポートを書く量まで変わった。すっかり入学当初の自分とは変わったが、入学した時の素直な心をもう一度思い出したいなと思う。

僕は、卓球競技の一選手である。そんな自分は今理想とするイメージと、そのイメージを実現させる大変さを感じている。本当の自分は甘えたい気持ちがあり、リフレッシュしたいが、卓球の練習もしっかりしないといけないという葛藤に押し潰されそうになる。だけど、毎日諦めずに練習している。毎日、1日がすぐ過ぎていってしまう。もう3学期。この短い期間を過ごす上で自分を一度見返してみる時間が必要なのではないかと、自分で仮説を立て、そんな夜を過ごした。高校に入ると決めた時の自分はなぜ高校を自分から「ここに行きたい」と言うことができたのだろうか。僕は、そんな一夜を過ごして気づいたことがあった。「高校生」この言葉はよく耳にするキーワードである。自分には、しっかりとした自覚があったことを思い出せた。自覚という言葉を考えて、とても深みのある難しい言葉だけど、この選択をしたのも運命なんだと信じて過ごす。それが正解ということに気づいた。

「苦しいときは縄文時代を思い出せ！」この言葉を何回も自分に言いかけて頑張ろうと思う。縄文時代は今よりもっと苦しいことがあったはずなので、それに比べたら今を頑張ろうと思える。縄文時代の魔法の言葉は、卒業文集で書いてみようと思う。(1組)

「3学期はあっという間です」1月7日始業式の時、先生が言いました。私は今進路についてたくさん考えてたくさん悩んでいます。2学期から本格的に向き合っていました、冬休みが終わった今も考えている時です。そんな中、今日始業式がありました。久しぶりに友達に会ったり、先生と話をしたりできてうれしかったです。けどもう3学期。烏帽子中学校にいられる時間がもう2カ月しかないということで、この1カ月ですべきことがたくさんあります。

今はあまり3学期、残り2カ月など感じていないけれど、先生方の話す内容を聴いて、いよいよなのかなと思いました。そして、3学期の目標は「考える」と「あきらめない」です。今進路について本当に悩んでいて大変です。だけど、迷っている両方の学校を調べて、良い所と自分はあまりだなどと思った所を書いて考え直しました。その結果、自分のやってみたいと思った方の道を進むことにしました。上手くやっていけるのか、楽しく過ごせるのか、友達ができるのかなど不安に思うことはたくさんあるけれど、この道を進んで良かったと思えるように、目標にしたように残りの約

1カ月は諦めずに受験勉強をしっかりと続けます。そして、最高学年といえば、卒業です。まだ、卒業式練習はしていないけれど、この3年間が良い形で終わるように練習もしっかり組みたいです。

私たちは自分の人生の大きな分かれ道をしっかりと選んで、それに向かって受験勉強をしています。勉強が嫌いな自分だけど、「あの時頑張った本当に良かった」と笑える自分を想像して頑張っています。改めて3学期もよろしくお願いします。(3組)

僕たち受験生にとってこの3学期は、今までとは違いとても忙しく、あっという間に過ぎてしまうと思う。受験まで残りわずかしかなく、勉強時間も限られてきている。僕は、「もう受験生なんだ」という実感があまりない。でも、その受験で自分の人生が変わるんだと考えると、「もっと頑張らないと」と感じる。

僕は将来、医療関係の仕事に就きたいという夢がある。その夢を叶えるために、第一志望の高校で勉強したいという思いがある。だから、その高校に受かるためにこの3学期、必死に勉強をしなければならない。時間はないものの、今自分ができることを精一杯して悔いが残らない時間にしたい。

3学期はもちろん勉強して受験に受かることが一番大切だと思うが、それ以外のことも頑張っていきたいと思う。この64回生で過ごす時間は受験が近づくとともに減っていき、高校が別々になる友達やこれから先、会うことがなくなる人もたくさんいると思う。今、僕が毎日楽しく学校に来られているのも友達や先生たちのおかげだと思う。だからこそ、これから過ごす3学期、友達や先生と過ごす時間を大切にしていきたい。そして、たくさんの感謝を伝えていこうと思う。

この3学期、今までにないくらいしんどい思いもするし、後悔もたくさんすると思う。だけど、自分なりに楽しかった、このメンバーでよかったと思えるように最後の時間を過ごしていきたい。そして、自分の夢のため、自分の行きたい高校に行けるよう、これからもっと勉強を頑張っていきたい。そして、卒業するとき、これまで支えてくれた友達や先生、家族のみんなに感謝を伝えられるようにがんばりたいと思う。(4組)

3年生になって、どの行事にも最後という言葉がつくようになりました。それと同じようにこの3学期も中学校生活“最後”です。小学校最後の3学期は、卒業の日を指折り数え、楽しい思い出を作っていくなどでしたが、中学校最後の3学期にもなると意味が異なります。この3学期はそれぞれの進路に向けて本格的に決まっていき、それぞれの道を進んで行くための最終準備を整えていくとても大切な時期になっていきます。私も進路について悩む時間が以前よりも長く、増えていきました。しかし、悩んでいるだけでは何も見えてきません。大事なのはこの3学期をどのように過ごすかということです。

私は、病気やけがに気を付けること、そして最後の最後まで諦めず自分の進路に向き合い、少しでも理想とするところに近づくことができるようにこの3学期を頑張りたいです。(2組)

<<1月17日防災学習がありました!!>>

災害にあった時に気をつけることを学び、自分たちにできることを考えました。

